

平成29年度第14回教育研究評議会議事要旨

日 時 平成30年3月20日（火）18時17分～18時35分

場 所 第1会議室

出席者 23名

和田学長，江頭理事（総務・財務担当副学長），
鈴木理事（教育担当副学長），
近藤副学長，高橋評議員（保健管理センター所長），
平沢評議員（情報処理センター長），
尾形評議員（言語センター長），
深田評議員（CGS 教育支援部門長），
船津評議員（CGS グローカル教育部門長），
廣瀬評議員（経済学科長），
伊藤評議員（商学科長），片桐評議員（企業法学科長），
加地評議員（社会情報学科長），
久保田評議員（一般教育系学科主任），
高宮城評議員（商学科教授），小倉評議員（企業法学科教授），
佐山評議員（社会情報学科教授）
沼田評議員（一般教育系教授），中島評議員（経済学科教授），
小林評議員（アントレプレナーシップ専攻教授），副島評議員（言語センター教授）
玉井評議員（アントレプレナーシップ専攻長），金評議員（現代商学専攻長）

公欠者 2名

穴沢評議員（国際連携本部長），
李評議員（CGS 産学官連携推進部門長），

欠席者 0名

議事に先立ち、和田学長から、議題12「国立大学法人小樽商科大学における大学発ベンチャーに関する規程について」を取り下げる旨発言があった。続いて、事前に配付している前回（3月6日）開催の平成29年度第13回教育研究評議会の議事要旨の確認が行われた。

議題1. 経営協議会委員の選出について

和田学長から、審議資料1に基づき、経営協議会委員の選出について諮られ、審議の結果、原案どおり承認された。

承認後、和田学長から、3月22日開催の役員会に附議する旨発言があった。

議題2. グローカル戦略推進センター教育支援部門長の選出について

議題3. グローカル戦略推進センターグローバル教育部門長の選出について

議題4. グローカル戦略推進センター産学官連携推進部門長の選出について

和田学長から、グローバル戦略推進センター教育支援部門長の選出、グローバル戦略推進センターグローバル教育部門長の選出、グローバル戦略推進センター産学官連携推進部門長の選出について、以下のとおり提案があった。

- 議題2～4は、関連した案件であるため、あわせて提案する。
- 本件については、グローバル戦略推進センターの各部門規程に基づき、各部門長を選出するものであること。
- 各部門長は、各部門規程にあるとおり、本学専任の教員のうちから、学長の推薦に基づき、学部・大学院合同教授会及び教育研究評議会の議を経て、学長が選任することとなっていること。
- この度学長より、
 - ・グローバル戦略推進センター教育支援部門長として、深田秀実教授、
 - ・グローバル戦略推進センターグローバル教育部門長として、プラート・カロラス教授、
 - ・グローバル戦略推進センター産学官連携推進部門長として、李濟民教授を推薦し、本日開催の学部・大学院合同教授会において承認されたこと。
- 任期は平成30年4月1日から平成32年3月31日までの2年間であること。

その後、審議が行われ、審議の結果、原案どおり承認された。

承認後、和田学長から、教育研究評議会において、グローバル戦略推進センター教育支援部門長として、深田教授、グローバル戦略推進センターグローバル教育部門長として、プラート教授、グローバル戦略推進センター産学官連携推進部門長として、李教授を選出することとする旨発言があった。

議題5. 保健管理センター所長の選出について

和田学長から、保健管理センター所長の選出について、以下のとおり提案があった。

〈提案内容〉

- 本日開催の学部・大学院合同教授会において、高橋恭子教授が選出され、承諾を得たこと。
- 学部・大学院合同教授会の意見を尊重し、選出された高橋教授にお願いしたいと考えていること。
- 次期保健管理センター所長の任期は、平成30年4月1日から平成32年3月31日までの2年間であること。

その後、審議が行われ、教育研究評議会として、高橋教授を選出することが承認され

た。

議題6. 言語センター長の選出について

和田学長から、言語センター長の選出について、以下のとおり提案があった。

〈提案内容〉

- 本日開催の学部・大学院合同教授会において、尾形弘人教授が選出され、承諾を得たこと。
- 学部・大学院合同教授会の意見を尊重し、選出された尾形教授にお願いしたいと考えていること。
- 次期言語センター長の任期は、平成30年4月1日から平成32年3月31日までの2年間であること。

その後、審議が行われ、教育研究評議会として、尾形教授を選出することが承認された。

議題7. 情報処理センター長の選出について

和田学長から、情報処理センター長の選出について、以下のとおり提案があった。

〈提案内容〉

- 本日開催の学部・大学院合同教授会において、平沢尚毅教授が選出され、承諾を得たこと。
- 学部・大学院合同教授会の意見を尊重し、選出された平沢教授にお願いしたいと考えていること。
- 次期情報処理センター長の任期は、平成30年4月1日から平成32年3月31日までの2年間であること。

その後、審議が行われ、教育研究評議会として、平沢教授を選出することが承認された。

議題8. 国際連携本部長の選出について

和田学長から、国際連携本部長の選出について、以下のとおり提案があった。

- 本件は、グローバル戦略推進センターの整備に伴い制定された、国際連携本部規程に基づき、国際連携本部長を選出するものであること。
- 国際連携本部長は、国際連携本部規程第5条にあるとおり、本学専任の教員のうちから、学長の推薦に基づき、学部・大学院合同教授会及び教育研究評議会の議を経

て、学長が選任することとなっていること。

○この度、国際連携本部長として、穴沢教授を推薦し、学部・大学院合同教授会においての信任投票の結果は、可となっていること。

○学部・大学院合同教授会の意見を尊重し、選出された穴沢教授にお願いしたいと考えていること。

○任期は平成30年4月1日から平成32年3月31日までの2年間であること。

その後、審議が行われ、教育研究評議会として、穴沢教授を選出することとする旨発言があった。

議題9. 学科長及び学科主任の選出について

和田学長から、審議資料9に基づき、学科長及び学科主任の選出について諮られ、審議の結果、原案どおり承認された。

承認後、和田学長から、教育研究評議会として審議資料9のとおり選出することとする旨発言があった。

議題10. 任期付き教員の再任審査について

和田学長から、審議資料1（回収）に基づき、任期付き教員の再任審査について、以下のとおり提案があった。

【審査対象者】

- ・所 属 グローカル戦略推進センターグローバル教育部門
- ・職・氏名 助教・中津川 雅宣（なかつがわ まさのぶ）
- ・任 期 平成30年4月1日～平成32年3月31日

続いて、審議が行われ、審議の結果、原案どおり承認された。

議題11. 小樽商科大学グローバルコース（主専攻プログラム）の骨子（案）について

和田学長から、審議資料11に基づき、小樽商科大学学則の一部改正（案）について小樽商科大学グローバルコース（主専攻プログラム）の骨子（案）について諮られ、審議の結果、原案どおり承認された。

議題13. 国立大学法人小樽商科大学客員研究員受入規程の一部改正（案）について

和田学長から、審議資料13に基づき、国立大学法人小樽商科大学客員研究員受入規程の一部改正（案）について諮られ、審議の結果、原案どおり承認された。

承認後、和田学長から、本件については、3月22日開催の役員会に附議する旨発言があった。

議題14. 平成30年度国立大学法人小樽商科大学年度計画（案）について

和田学長から、審議資料14に基づき、平成30年度国立大学法人小樽商科大学年度計画（案）について諮られ、審議の結果、原案どおり承認された。

議題15. 国立大学法人小樽商科大学永年勤続者表規程の一部改正（案）について

和田学長から、審議資料15に基づき、国立大学法人小樽商科大学永年勤続者表規程の一部改正（案）について諮られ、審議の結果、原案どおり承認された。

承認後、和田学長から、本件については、3月22日開催の役員会に附議する旨発言があった。

議題16. ハワイ大学カピオラニコミュニティカレッジとの相互理解覚書および留学生プログラム受入れの合意書の締結について

和田学長から、審議資料16に基づき、ハワイ大学カピオラニコミュニティカレッジとの相互理解覚書および留学生プログラム受入れの合意書の締結について諮られ、審議の結果、原案どおり承認された。

承認後、和田学長から、本件については、3月22日開催の役員会に附議する旨発言があった。

次回の教育研究評議会は、4月11日（水）現代商学専攻教授会終了後に開催する予定である。

以 上